

お客様各位

キャノンソフトウェア株式会社

ライトニングFAX バージョン 5.5 リビジョン66 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「ライトニングFAX」(Ver. 5.5-65→Ver. 5.5-66)に
おいて、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎ライトニングFAXの送受信履歴のファイル出力が、コマンドラインからでも実行できるようにしました。
- ◎NTTデータ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスが以下のOSに対応しました。
 - ・Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials
 - ※Microsoft Windows Server 2012 R2のServer Coreでの動作には対応していません。
- ◎Dialogic社製 TR1034 ボードが以下のOSに対応しました。
 - ・Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials
 - ※Microsoft Windows Server 2012 R2のServer Coreでの動作には対応していません。
- ◎以下のOSを動作対象から除きました。
<クライアント>
 - ・Windows XP Professional
- ◎シャタイシステムズ社製 IP-FAX アダプタ (FAXセキュリティオプション付属のハードウェア) を非対応としました。

[ドライバ機能関連]

- ◎以下のNTTデータ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、INS ネット付加サービス「発信専用制御機能」を利用して、LFdriver サービス停止後の着信を別回線にスライドできるようにしました。
 - ・VS-412MB
 - ・VS-2301MB

[クライアント機能関連]

- ◎FAX エクスプローラの再送信用画面において「会社名」をすべて表示するようにしました。

[セキュリティ機能関連]

- ◎スタンバイ登録機能の使用時は、時間指定送信もスタンバイ登録するようにしました。

- ◎FAX エクスプローラの以下の画面において「会社名」と「送信先名」をすべて表示するようにしました。
 - ・承認用画面
 - ・確認送信用画面

◎送信済の FAX アイテムに対して再度承認できないようにする設定を設けました。

[API 機能関連]

- ◎複合機を含む外部デバイスまたはアプリケーションが所定のフォルダに作成した PDF ファイルを、新規受信アイテムまたは送信要求アイテムとしてライトニング FAX サーバに取り込む機能を追加しました。
- ◎PDF ファイルを送信する場合、色の濃淡やディザリングなど、画質を詳細に設定して TIFF 変換できるようになりました。
- ◎ライトニング FAX API フィードバックに、イメージファイルと同じフォルダに FAX 送受信情報を CSV 形式でファイルに出力する機能を追加しました。
- ◎ライトニング FAX API フィードバックが出力するイメージファイルの出力先フォルダ名に、リソース番号やユーザ ID を指定できるようにしました。
- ◎ライトニング FAX API フィードバックが出力するファイル名に、メッセージ ID を指定できるようにしました。

[電子メールゲートウェイ機能関連]

- ◎PDF ファイルを送信する場合、色の濃淡やディザリングなど、画質を詳細に設定して TIFF 変換できるようになりました。

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[インストール関連]

- ・以下の OS にライトニング FAX をインストールすると、アプリケーションのショートカットが正しく作成されないことがある。
 - ・Microsoft Windows 8
 - ・Microsoft Windows 8.1
 - ・Microsoft Windows Server 2012
 - ・Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ライトニング FAX API、または電子メールゲートウェイ（SMTP 版）のインストールが完了した時、「インストールは正常に完了しました」というメッセージが最前面に表示されないことがある。

[サーバ機能関連]

- ・自動返信機能を使用している場合、返信用 FAX イメージに埋め込む電話帳の「会社名」と「敬称」の情報の合計が 45 バイトを超えると、LFAutoReply.exe のアプリケーションエラーが発生する。

[ドライバ機能関連]

- ・Dialogic 社製 TR1034 アナログ用ボードで[格納/転送]機能と受信通知失敗時の復旧機能を使用している場合、LFdriver サービスの起動時に、前に受信したアイテムが再度新規受信アイテムとして登録される。

- ・ Rev52 以降で Dialogic 社製 TR1034 BRI 用ボード、または TR1034 PRI 用ボードを使用している場合、RING に対して応答が無い時のエラーコードが「13325」ではなく「12007」となる。
- ・ 以下の NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、FAX 番号に「*」を指定するとそれ以降の番号を削除して発信してしまう。
 - ・ VS-411MB
- ・ NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、FAX の受信中あるいは送信中に LFch.exe がアプリケーションエラーとなることがある。

[クライアント機能関連]

- ・ 以下の OS にライトニング FAX クライアントをインストールすると、LCR テーブルが起動できないことがある。
 - ・ Microsoft Windows 8
 - ・ Microsoft Windows 8.1
 - ・ Microsoft Windows Server 2012
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ ライトニング FAX ビューワでサムネイルを表示させて、アノテーションをコピー後にサムネイルペインをアクティブにして [CTRL]+[V] キーによる貼り付けをすると、サムネイル上にコピー対象のアノテーションが表示される。
- ・ ライトニング FAX ビューワで複数ページのアイテムを開きテキストアノテーションを貼り付けた後、別のページで上下左右に回転すると LFviewer.exe のアプリケーションエラーが発生することがある。

[受信 FAX 効率化機能関連]

- ・ 機能キーボタン操作実行後にライトニング FAX ビューワを閉じる設定をした場合、連続表示の最後のアイテムを表示している状態であるとワンタッチ操作してもライトニング FAX ビューワが閉じない。

[セキュリティ機能関連]

- ・ FAX エクスプローラ承認/確認送信のメール通知機能を使用している場合、以下の送信で、アイテムがスタンバイで登録されなくてもスタンバイのメールが送信されることがある。
 - ・ ライトニング FAX API から送信
 - ・ ブロードキャスト送信

[API 機能関連]

- ・ ライトニング FAX クライアント、または電子メールゲートウェイ (SMTP 版) がインストールされていない環境で、API フィールドバックのフィールド種別識別文字を「s」で指定すると戻り値の文字列が正しく取得できない。

[電子メールゲートウェイ機能関連]

- ・ クライアントからの FAX 送信時の電子メール通知設定がない場合、ライトニング FAX API、または電子メールゲートウェイ (SMTP 版) からブロードキャスト送信しても、メール通知されない。
- ・ 添付ファイル名に半角の「%」が含まれていると送信アイテムが登録されない。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
Windows Server 2012 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2012 Standard	－	○

○：確認済み ー：対象外

※FAX ボードとライトニング FAX ドライバは仮想環境で使用できません。

別途、物理サーバ環境をご用意ください。

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上